

## 基本目標 2 <教育文化> 豊かに学びみんなが輝くまちづくり

政策 2  
豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を育みます

政策担当部局：教育指導部、教育総務部

施策 2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

施策 2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備・充実

施策 2-3 スポーツ環境の整備とスポーツによる地域活性化

施策 2-4 心を豊かにする生涯学習の推進

施策 2-5 横手の風土に育まれた伝統文化の継承

## 施策2-1

## 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

施策担当部局：教育指導部

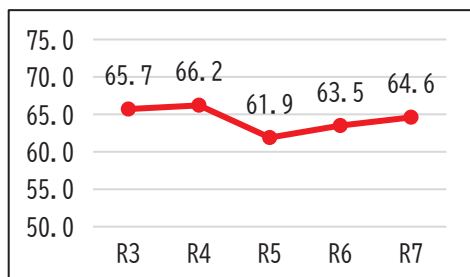
### 目指す将来の姿

ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれた児童生徒が、一人ひとりの個性を発揮しながら健やかに成長しています。

### まちづくり指標

#### 「学校教育の充実」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値  
(過去5年平均)

64.0点

目標値  
(R12)

70.4点

### 施策の成果指標

学校が楽しいと思う児童生徒の割合

現状値  
(直近値)

93.2%

目標値  
(R12)

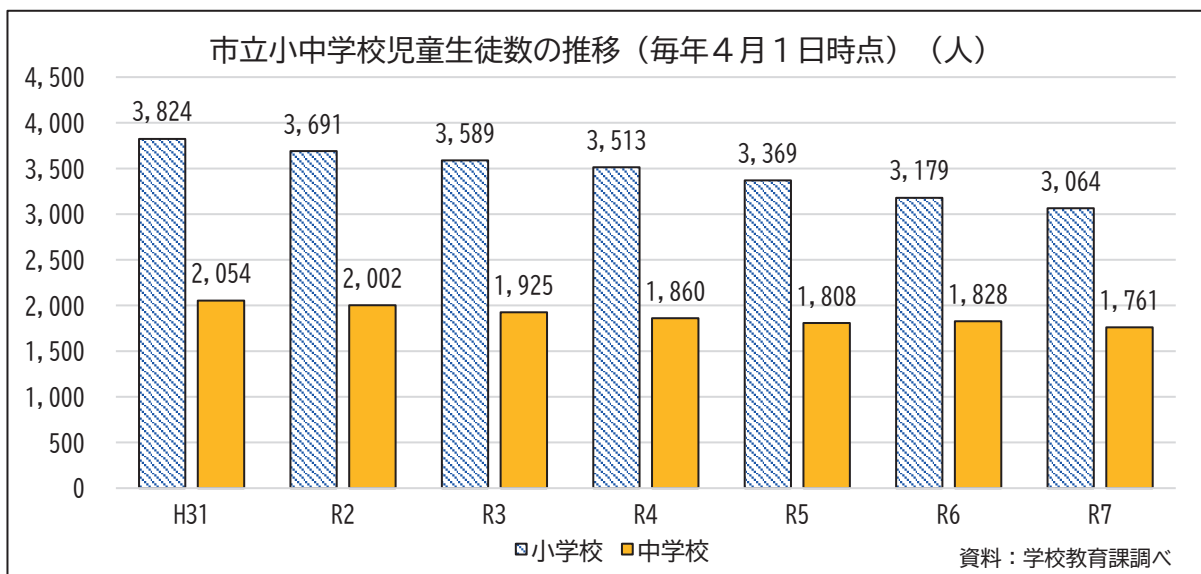
97.0%

地域や社会をよくするためになにかしてみたいと思う児童生徒の割合

89.6%

93.0%

### 関連グラフ



## 現状と課題

- 1 近年の当市の出生数から今後の児童生徒数の推移を算出すると、児童生徒の減少に伴い、教員定数も減少し、子どもたちの学習環境が大きく変化していく状況にあります。また、子どもを「社会の創り手」という視点で捉え直した教育が求められる今、子どもたちが、社会の流れを肌で感じながら主体的に学ぶ「子どもが自律的に育つ学校」への変革を迫られています。ICTを活用した学校間連携を推進し、多様な考えに触れる機会を設定するなどして、学校規模の大小にかかわらず、子どもたちの学習環境を整えていくほか、学習の場を学校以外にも広げ、より社会に開いた教育を推進していく必要があります。
- 2 人口減少が進む当市において、子どもたちが社会の創り手であることを意識し、将来、地域で活躍する人材として成長していくことが求められています。子どもたちが地域で活躍する人材として成長するには、横手を愛する心を育むことが重要であり、横手のよさ（歴史・文化・産業・教育）や、食育を通じた食文化、郷土食の価値を学ぶ機会の充実等が必要です。
- 3 近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、就学前や小・中学校において抱える問題は複雑化・困難化しています。子どもたちが安心して学校生活を送るためには、原因や背景が多岐にわたる不登校への対策と対応、特別な支援を必要とする子ども一人ひとりへのきめ細かな配慮や支援が必要です。また、家庭の状況や変化によって児童生徒の教育の機会が失われないように、支援していくことも必要です。

### 用語解説

- ICT  
Information and Communication Technologyの略称。日本語では、「情報通信技術」と訳される。

### 取組方針

地域に根ざした教育活動を通して、横手を愛する心と生きる力を育み、学校教育の充実を図ります。

## 施策の展開

### 1 教育指導の充実

- 計画的、組織的な研修を通して教職員の資質向上を図るとともに、児童生徒が社会とかわりながら自律的に学ぶことができる授業や教育課程の編成を充実させます。
- 児童生徒の情報活用能力の育成や学びの質の向上、学校間連携や社会とのかかわりを重視した教育の充実に向けて、ICT活用を推進します。

主要事業等 教育研究推進事業とICTの効果的活用の推進

### 2 食育指導、ふるさと教育の充実

- 児童生徒が地域や伝統的な食文化についての理解を深め、郷土愛を育めるよう学校給食に地場産品を積極的に活用し、旬の味覚や郷土食を伝えるとともに、日常生活における食事についても、正しい理解と望ましい習慣を体得できるよう、食育を推進します。
- 「横手を学ぶ郷土学」テキスト、地域人材や地域素材を活用した学習、地域と協働して行う学習を推進するなどして、児童生徒がふるさと横手のよさを学ぶ機会を充実させます。

主要事業等 食育・地産地消推進事業とふるさと教育の充実

### 3 幼児教育・保育、特別支援教育の充実

- 特別な支援を必要とする児童生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い、安定した学校生活を送ることができるように支援します。
- 幼児教育・保育における質の向上と、こどもの育ちをつなぐ小学校と幼児教育施設との連携を強化します。

主要事業等 学校生活サポート事業、幼児教育推進事業

#### 不登校児童生徒の支援、いじめの未然防止と早期発見・解消

- いじめの起こりにくい雰囲気づくりに努めるとともに、登校が困難な児童生徒や、いじめ等の問題に悩む児童生徒に対し、学校と教育支援センター、Yotte-Cotto（こども・若者相談窓口）、スクールカウンセラー等が連携して支援します。

主要事業等 教育相談・教育支援センター事業、いじめ防止等対策事業

#### 教育の機会均等を図る支援

- 経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、教育に必要な援助を行います。
- 修学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な学生を支援します。

主要事業等 小中学校要保護及び準要保護就学援助費、奨学金貸付事業



生活科地域ボランティアとの活動の様子

### みんなで一緒にできること

- 私たちは、地域において子どもへの見守り、声かけなどを行い、こどもの健やかな成長を支えます。
- 私たちは、地域行事に積極的に参加したり、学校での行事や学習に協力したりして、こどもが地域とかかわりながら学ぶ機会の充実に取り組みます。
- 事業者は、体験学習や施設見学の受け入れを行ったり、学校での行事や学習に協力したりして、未来の横手を担う人材の育成に取り組みます。

### 関連計画

横手市教育ビジョン、横手市子ども計画、横手市子ども・子育て支援事業計画（夢はぐくむゆきんこプラン）、横手市食育推進計画

## 施策2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備・充実

施策担当部局：教育総務部、教育指導部

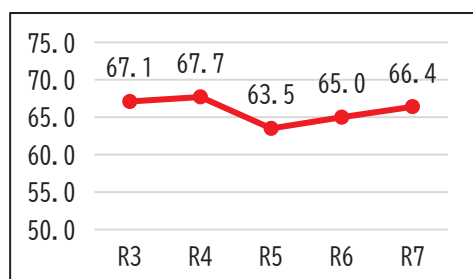
### 目指す将来の姿

未来の横手市を担う児童生徒が、新しい時代を生き抜く力を身に付け、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

### まちづくり指標

#### 「教育環境の整備」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値  
(過去5年平均)

65.7点

目標値  
(R12)

72.2点

### 施策の成果指標

現状値  
(直近値)

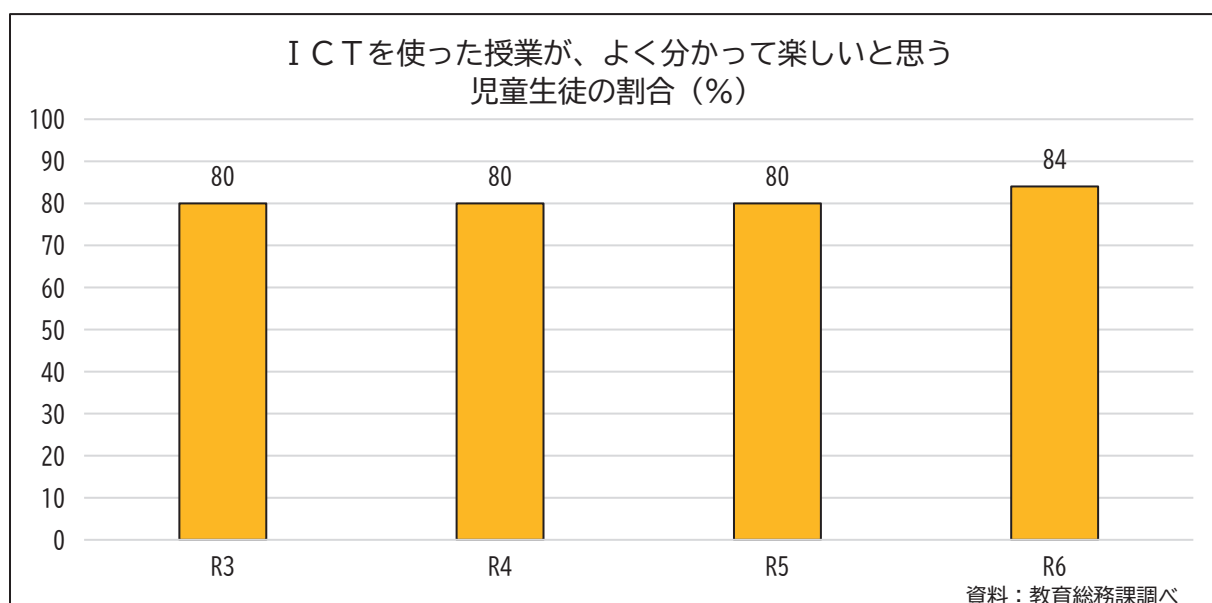
1校

目標値  
(R12)

20校

理科室など特別教室用に無線LANが利用可能な大型提示装置が6台以上ある学校数

### 関連グラフ



## 現状と課題

- 1 学校施設については、老朽化対策のみならず、LED化など個別課題に対応する快適な環境整備が求められています。また、遠距離通学の児童生徒の安全な通学手段の確保のため、スクールバスの運行を実施しています。学校施設は、多様な教育内容・方法への対応も併せ、緊急度・重要度から優先順位を見極めながら適切な維持管理を行う必要があります。また、スクールバスは、児童生徒数の推移に応じた車両配置や運行管理を行い、安全で安心な環境整備を継続していく必要があります。
- 2 学校ICTは、GIGAスクール構想により、児童生徒に1人1台端末と、これに伴う通信ネットワークが急速に整備され、遠隔・オンライン教育が進展し、学びの変容がもたらされました。今後の教育DXの推進に備え、既存のICT機器の整備水準が低下しないよう維持・更新を行っていくとともに、学習や校務におけるデジタルの利点を生かした活用とICT指導力向上のための人材育成が課題となっています。
- 3 学校給食については、市内3カ所の学校給食センターで、民間委託により徹底した衛生管理のもと給食を提供していますが、一部の厨房機器や設備が老朽化しています。今後も安全で安心な給食を提供するため、専門的な知識に基づいた衛生管理による運営と、老朽化が進む厨房機器・設備の計画的な更新が必要です。

### 用語解説

- GIGAスクール構想  
児童・生徒1人に1台のパソコンやタブレットといったICT端末と高速ネットワークを整備する文部科学省の取組。  
「GIGA」とは、「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「全ての児童・生徒のための、世界につながる革新的な扉」という意味。
- DX  
「Digital Transformation」の略で、デジタル技術を活用し、人々の生活をより良く、ビジネスをより変革していくことを意味する。

### 取組方針

新しい時代の学びに対応し、安全で安心して学べる質の高い教育環境を整備するとともに、学校施設等の適正な管理を行います。

## 施策の展開

### 1 教育環境の整備

- 児童生徒の良好な教育環境の構築のため、学校施設の長寿命化対策に取り組むとともに、施設及び設備等の適正な維持管理を図ります。また、スクールバスの適正な管理・運行を実施し、安全な通学手段を確保します。

主要事業等 学校施設長寿命化対策事業、スクールバス運行管理費

### 2 教育DXの推進

- より良い指導のための教材備品や学校図書資料の充実に努めるとともに、小中学校のICT環境の整備やICTを活用できる人材の育成に取り組みます。

主要事業等 小中学校ICT環境整備事業

### 3 安全・安心な学校給食の提供と給食施設・設備の整備

- 各学校給食センターの調理及び配送業務を民間委託し、専門的な知識を活用しながら、徹底した衛生管理のもと安全・安心で充実した学校給食を提供します。
- 教育環境の保護者負担の軽減を図るため、小中学校給食費の無償化を実施します。
- 施設の適正な維持管理や老朽化が進む機器等の計画的な更新整備を進めます。

主要事業等 学校給食事業、学校給食センター施設の維持管理・運営





給食時間の様子

### みんなで一緒にできること

- 私たちは、こどもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、環境整備活動などに積極的に参加し、安全な教育環境づくりに取り組みます。

### 関連計画

横手市教育ビジョン

## 施策2-3

## スポーツ環境の整備とスポーツによる地域活性化

施策担当部局：教育総務部

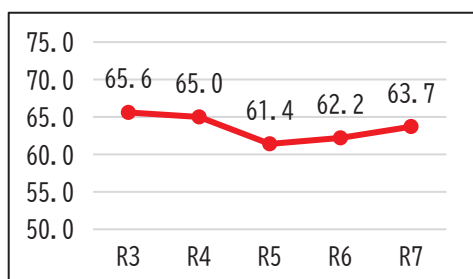
### 目指す将来の姿

市民一人ひとりが様々な楽しみ方でスポーツに親しみ、多くの人との交流を通して地域が活性化しています。

### まちづくり指標

#### 「スポーツ環境の整備とスポーツによる地域活性化」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値  
（過去5年平均）

63.1点

目標値  
（R12）

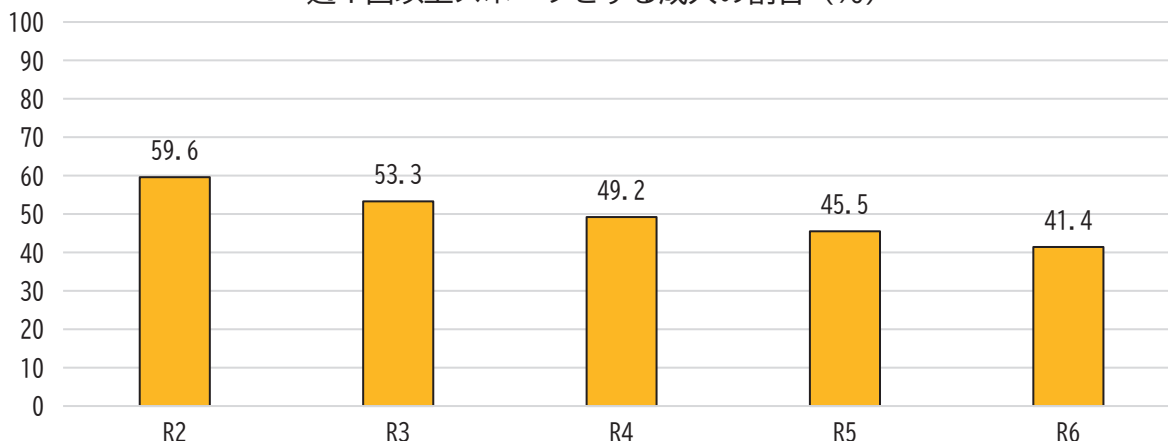
69.4点

### 施策の成果指標

|                        | 現状値<br>（直近値） | 目標値<br>（R12） |
|------------------------|--------------|--------------|
| 週1回以上スポーツをする成人の割合      | 41.4%        | 55.0%        |
| 人口1人あたりのスポーツ施設利用回数（年間） | 4.7回         | 5.0回         |
| スポーツ合宿の延べ滞在者数（年間）      | 1,193人       | 1,380人       |

### 関連グラフ

週1回以上スポーツをする成人の割合（％）



資料：秋田県「秋田県スポーツ実態調査」

## 現状と課題

- 1 スポーツや健康づくりについて、各種団体やスポーツ推進委員、スポーツ奨励員の活動等により、全体的にはコロナ禍以前の水準に回復しつつありますが、市民一人ひとりのスポーツとのかかわりについては個人差が大きくなっています。気軽にできるスポーツやレクリエーション活動に加え、競技力の向上、観るスポーツの推進など、多様なスポーツの取り組み方・楽しみ方に対応したサポート体制の構築を行う必要があります。
- 2 スポーツ施設については、これまで施設の廃止や統合を行いつつ、横手市立体育館の建設、天下森スキー場の整備、主要野球場の改修、十文字陸上競技場の公認更新などを行ってきましたが、未だ設備の改修等が必要な施設があります。今後も、利用者のニーズに合ったサービスの提供を図るため、設備の改修や備品の更新等を行う必要があります。
- 3 横手市立体育館をはじめ、主要なスポーツ施設の整備・改修による機能向上に伴い、これまで以上に様々な大会やイベントの開催が期待されています。スポーツを核とした交流人口の拡大や地域経済の活性化を推進するため、市の魅力である食文化や農業、観光資源などを最大限に生かす仕組みの強化が必要です。



スポーツ合宿の様子

### 取組方針

年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、すべての市民が気軽、かつ安全にスポーツを楽しむことができる環境を整えるとともに、関係団体や市民の参画のもとでスポーツの魅力を発信し、交流人口の拡大や地域経済の活性化を含めたスポーツによるまちづくりを推進します。

## 施策の展開

### 1 生涯にわたるスポーツ活動の推進

- すべての市民が生涯を通してスポーツに親しみ、ライフステージやライフスタイルに応じた活動ができる環境をつくります。
- スポーツ人口の底辺拡大を進め、全国や世界に誇れる選手及び指導者の育成に取り組みます。また、市を代表するアスリートやチームのサポート体制を充実させ、郷土意識や地域の一体感を醸成します。

#### 主要事業等

市民スポーツ振興事業、スポーツ関係団体等との連携・支援、競技スポーツパワーアップ事業

### 2 スポーツ施設の整備・充実

- 市民が安全にスポーツやレクリエーション活動を楽しむことができるよう、スポーツ施設の適切な管理運営を行うとともに、計画的な改修や整備を実施します。
- 施設の管理運営や改修等に当たっては、民間活力の導入やニーズに合わせた配置を考慮して進め、利用者の満足度や利便性を向上します。

#### 主要事業等

スポーツ施設の適切な管理運営、スポーツ施設の計画的な改修・整備

### 3 スポーツを核とした地域活性化

- 各種スポーツの大会やイベント、合宿等を核に、市の豊かな地域資源を活用することで、交流人口の拡大や地域を活性化します。
- 横手市立体育館等での大規模な大会やスポーツイベントの開催により、スポーツ交流と観戦機会を充実します。

#### 主要事業等

スポーツのまちづくり事業



スカイロケット秋田エキシビジョンマッチの様子



### みんなで一緒にできること

- 私たちは、日常的にスポーツに親しみ、理解や関心を深めながら、スポーツイベントや活動に積極的に参加し、自らの健康づくりに取り組みます。また、スポーツ選手の応援やスポーツイベントの支援、スポーツをきっかけに横手市を訪れる人へのおもてなしなどを通して、自身がスポーツで横手を元気にする担い手であるという意識を高めます。
- スポーツ関係団体は、初心者から競技志向者まで幅広い層に対応したプログラムの提供や、指導者の育成等を積極的に進めるとともに、市や関係機関等との連携・協力を図りながら、スポーツで横手を元気にするための主体的な役割を果たします。
- 事業者は、社員の福利厚生や社会活動、事業活動等としてスポーツ活動を推進するとともに、横手市のスポーツ振興事業を含めたイベントや活動への支援を通して地域のスポーツ文化を育みます。

### 関連計画

横手市教育ビジョン、横手市スポーツ推進計画

## 施策2-4 心を豊かにする生涯学習の推進

施策担当部局：教育総務部

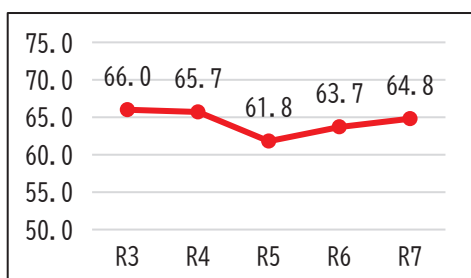
### 目指す将来の姿

市民は、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学ぶことができ人生を楽しんでいます。また、学びを通じて人々の交流や賑わいを創出するとともに、学んだ成果はまちづくりにも生かされています。

### まちづくり指標

#### 「生涯学習の推進」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値  
(過去5年平均)

64.0点

目標値  
(R12)

70.4点

### 施策の成果指標

生涯学習講座・教室の参加者数（年間）

現状値  
(直近値)

23,710人

目標値  
(R12)

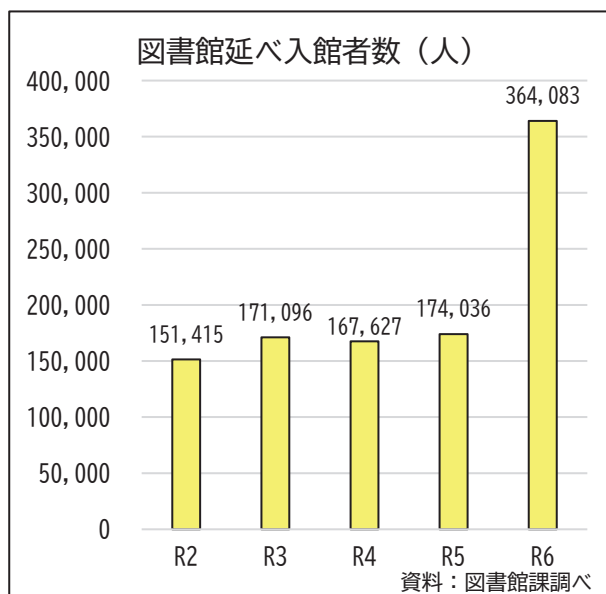
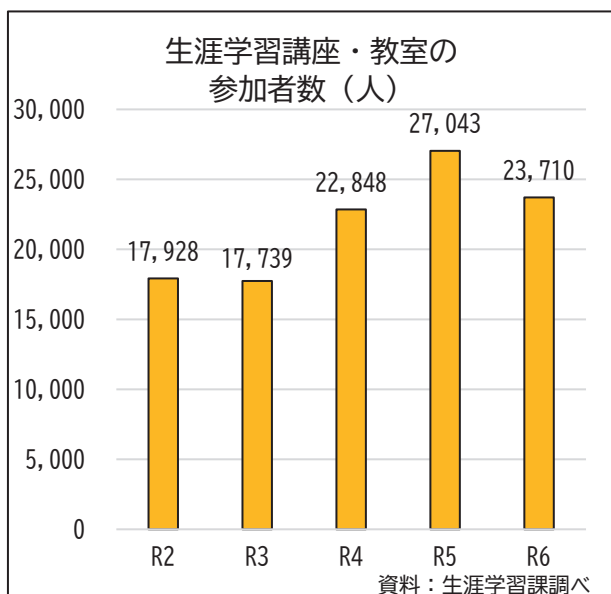
25,000人

生涯学習関連施設の延べ利用者数（年間）

776,656人

950,000人

### 関連グラフ



## 現状と課題

- 1 「学び」を通じて個人の要望と社会の要請に添えていくことが求められています。一方で、社会の要請である地域課題や現代的課題の解決には、関係機関や団体との連携は不可欠であり、「学び」によるつながりを広げていきながら相互の関係を深めていくことが大切です。個人の要望に対しては、学習ニーズを可能な限り把握し、より満足度の高い学習機会の提供と学びの環境づくりに努めていく必要があります。
- 2 文化芸術の振興においては、活動者や支援者、継承者が減少しているほか、拠点となる施設が老朽化していることから、新たな施設の整備や更新が求められています。次世代の文化芸術を担う人材を育む土壌をつくり、拠点となる施設は、適正な維持管理に努めるほか、計画的な施設整備と更新をすることが必要です。
- 3 マンガをテーマとした特色ある横手市増田まんが美術館では、マンガを活用した豊かな学びの提供に取り組んでいますが、その対象は小・中学生と限定的です。更に幅広い世代にマンガ文化の魅力を伝えるためには、マンガ文化に触れ、楽しむことのできる環境を整える必要があります。
- 4 市立図書館は、I Cタグを活用し利用者によるセルフ貸出しや図書管理、展示等を通じ図書館サービスの向上に取り組んでいますが、図書館の登録者数（有効登録率）は全市民の2割弱にとどまっている状況です。様々な媒体を活用し、図書館サービスの周知や図書館情報の発信に努め、市民の読書活動を推進していく必要があります。

### 取組方針

市民が生涯にわたり学び続けられるよう、ライフステージに応じた学習機会の充実を図るとともに、学びを通じて人々の交流や賑わいの創出に取り組みます。

文化芸術においては、優れた文化芸術に触れる機会や体験する機会の提供に努め、気軽に楽しむ環境づくりを進めます。

## 1 生涯学習の振興

- 生涯にわたり学ぶことができるよう、新たな学びのきっかけづくりと、専門的知識を有する関係機関と連携して満足度の高い学習機会を提供します。
- 生涯学習館A o - n aでは、心地よい居場所の提供を行いながら、学びを通じて多様な人々の交流を促します。
- こどもたちの自立性や協調性、思いやりの心など、豊かな人間性を育むため、体験活動や交流事業の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域全体でこどもの成長を支える体制を強化します。
- 主体的に活動する生涯学習推進団体や学びの場を提供する各種社会教育団体の活動のほか、地区交流センターと連携し、学びの側面からまちづくりを支援します。

### 主要事業等

生涯学習推進事業、生涯学習館費、学校・家庭・地域連携総合推進事業

## 2 文化芸術の振興

- 文化芸術に親しむ機会を充実します。特にこどもたちの豊かな心や感性を育むため、鑑賞・体験機会を提供します。
- 市民が主体的に文化芸術活動を行えるよう支援し、成果発表の機会と場を提供します。

### 主要事業等

芸術文化推進事業

### 生涯学習関連施設の整備と適正な管理

- 拠点となる施設を適正に維持管理します。
- 生涯学習関連施設は、施設ごとにそのあり方を検討し計画的な整備と更新を進めます。
- 市民が集い、市民に愛される施設として、市民会館の整備実現に向けた取組を実施します。

### 主要事業等

芸術文化施設費

## 3 マンガを活用した学びの充実

- 幅広い世代に対して、マンガの魅力を活用した豊かな学びの機会を提供します。

### 主要事業等

増田まんが美術館事業（マンガ活用推進事業）

## 4 図書館の充実

- 図書館の設備や機能を充実させ、読書文化の推進に取り組みながら、地域の交流拠点として賑わい創出に貢献します。
- 読書活動の支援を充実させるとともに、地域の財産である郷土資料の収集・保存に努めます。

### 主要事業等

市立図書館の管理運営、読書活動促進事業



横手市生涯学習館A o - n a 2階（横手図書館）マンガコーナー

### みんなで一緒にできること

- 私たちは、各種講座に積極的に参加したり、生涯学習関連施設へ足を運んだりしながら、学びを通じて人とのつながりを大切にします。
- 私たちは、知識・教養を深めるため、読書に親しみ読書を楽しみます。
- 事業者は、事業に関係する講座への講師派遣や、自分たちの施設を生涯学習の場として積極的に提供や紹介を行います。

### 関連計画

横手市教育ビジョン、横手市生涯学習推進計画（よこて学びプラン）、横手市読書活動推進計画、横手市マンガ活用構想

## 施策2-5 横手の風土に育まれた伝統文化の継承

施策担当部局：教育総務部

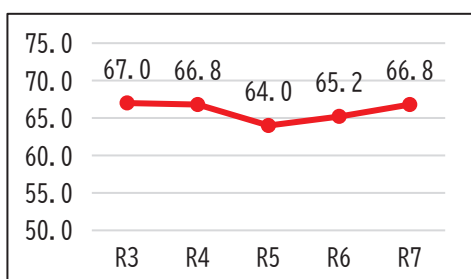
### 目指す将来の姿

市民が横手の伝統文化に関心をもち、探求によって気づいた魅力を学びやまちづくりに活用しています。

### まちづくり指標

#### 「伝統文化の継承」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値  
（過去5年平均）

65.7点

目標値  
（R12）

72.3点

### 施策の成果指標

資料館施設等の来館者数（年間）

現状値  
（直近値）

4,600人

目標値  
（R12）

5,500人

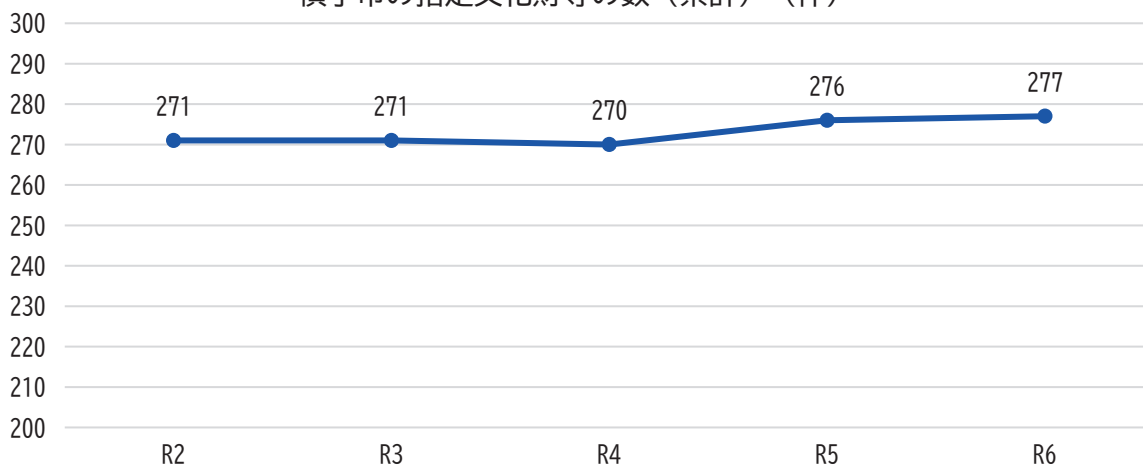
まちあるきや公開講座等市民参加型イベントへの参加者数（年間）

292人

320人

### 関連グラフ

横手市の指定文化財等の数（累計）（件）



資料：伝統文化課調べ

## 現状と課題

- 1 地域に存在する文化遺産については、市で把握しているものに分野的・地域的な偏りがみられます。今後も調査による未知の文化遺産の掘り起こしと価値評価を進める必要があります。
- 2 指定等文化財の中には破損や劣化が進むものも多くみられます。指定文化財の所有者や管理者が適切に保存できるよう継続的な対策が必要です。
- 3 伝統文化の価値が知られることのないまま失われてしまうものがみられます。その価値や魅力が広く認識されるよう、市民が文化遺産に触れる機会の創出や情報発信力の強化が求められています。また、文化遺産の利活用やその調査成果の整理・公開を進める必要もあります。
- 4 文化遺産の保存活用の担い手や指導者、団体が減少しています。横手の文化遺産の魅力を市内外に発信したり次世代に伝えることができる人材の育成が必要です。
- 5 まちづくりの核となる文化遺産を集約した展示施設については、市全域の歴史文化を学べる施設がありません。既存施設の有効活用とともに、将来的にはFM計画に基づいた統廃合が求められています。また、伝統文化に触れながら市内全域を回遊するような仕組みづくりを進める必要があります。

### 取組方針

市民が文化遺産に愛着をもち、多様な形態において活用できるように、その把握と周知に努め、伝統文化を次世代に継承します。

## 施策の展開

### 1 文化遺産の把握と調査、価値付け

- 市内各地に残る多様な文化遺産の把握を推進します。
- 横手固有の自然環境の下で育まれた地域の歴史文化との関連性が確認される文化遺産の把握を進め、詳細調査を実施することで指定等の価値付けを推進します。

**主要事業等** 伝統文化総務費、文化財調査保存事業、埋蔵文化財発掘調査事業

### 2 文化遺産の保存の推進

- 指定文化財の所有者や管理者が、後世に伝えるための保存できる環境を整えます。
- 未指定の文化遺産は、所有者や担い手が保存・継承できるよう相談できる窓口を関係機関と協力しながら設置するほか、保存や継承が困難な文化遺産については、アーカイブ化などの記録保存を進めます。

**主要事業等** 重要伝統的建造物群保存事業、伝統文化総務費、文化財調査保存事業、埋蔵文化財発掘調査事業

### 3 文化遺産や伝統文化の周知と活用の推進

- 文化遺産の調査成果やアーカイブ化した記録を活用し、横手の文化遺産や伝統文化の魅力の周知・発信を進めます。また、まちあるきなどの横手の伝統文化を体感する機会の提供を通じて、文化遺産の利活用を推進します。

**主要事業等** 重要伝統的建造物群保存事業、伝統文化普及事業

### 4 学びの機会の充実

- 小中学校と連携して、横手を愛する児童生徒の育成を図るとともに、大人向けの学びの機会も提供することで、誰もが伝統文化に関心をもつきっかけづくりを進めます。

**主要事業等** 伝統文化普及事業

### 5 資料館施設の充実

- 資料館施設では、魅力ある特別展等を企画し、これと連動した講話などのイベント開催により、関心をもった市民が市内を回遊できる仕組みづくりを進めます。また、既存の資料館等の統廃合を視野に、市全域の歴史文化を総合的に学べる環境づくりを進めます。

**主要事業等** 伝統文化普及事業、資料館費



### みんなで一緒にできること

- 私たちは、文化遺産の調査や保存活動に積極的に参加し、地域の宝を発見、発信することで伝統文化に関心をもつきっかけづくりに協力します。
- 私たちは、地域の祭り、伝統行事へ積極的に参加することで、伝統文化を継承し、後継者を育成します。
- 事業者は、地域の祭り等へ積極的に協力します。

### 関連計画

横手市教育ビジョン、横手市歴史文化遺産保存活用地域計画、横手市歴史的風致維持向上計画、横手市増田伝統的建造物群保存地区保存計画